

2021年10月13日

報道関係者各位

## 障害者が生産行程に携わった食品 岡山県内初 ノウフク JAS 認証

登録認証機関：日本基金

平素より、弊社の取り組みにご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

2019年に制定された日本農林規格「ノウフク JAS」の正式名称は、「障害者が生産行程に携わった食品の農林規格（平成31年3月29日農林水産省告示594号）」といます。その本来の主旨は、「みんなが地域の一員となり、一緒になって地域を作っていく」その取組みを評価するというものです。この度は岡山県、ノウフク連携サポートセンターと岡山県内の4団体が協力して岡山県内同時（全国最多）で初認証を得ることができた取り組みです。ノウフク JAS を実践、発信することは SDGs が示す6つの項目（ターゲット目標 ③⑧⑩⑫⑮⑰）で目標達成に貢献でき、ノウフク JAS を普及させる活動となります。

情報提供させていただきますので是非ともこの機会に取材対応の程よろしくお願いいたします。

### ■ど根性ファーム 沿革及び受賞歴

当社の創業は、(株)創心會社員らが、日本の農業の担い手不足等の問題と、障害者や要介護者の自立の道づくりというそれぞれの問題を解決するためのプロジェクトを発足し、耕作放棄地の再開墾からスタートしたことがきっかけです。

#### 沿革

平成22年5月	(株)創心會従業員にて、農業と福祉の融合を目指し農業体験開始
平成23年6月	NPO 法人未来想造舎和一久（わーく）障害者就労支援の作業として開始
平成24年3月	本格的に農業参入する目的にて NPO 法人未来想造舎和一久より農業を独立させ、合同会社ど根性ファーム設立
平成24年12月	岡山県笠岡市の笠岡干拓地に参入
平成25年3月	農業生産法人の認可
平成27年6月	6次産業化（カット野菜事業）
平成30年7月	西日本豪雨被災
令和3年9月	ノウフク JAS 認証

#### 受賞歴

平成30年度	農林水産祭6次産業化優良事例表彰	農福連携賞
令和元年	中四国農政局ディスカバー農村漁村の宝	ビジネス部門

## ■創心會グループの農福連携モデル

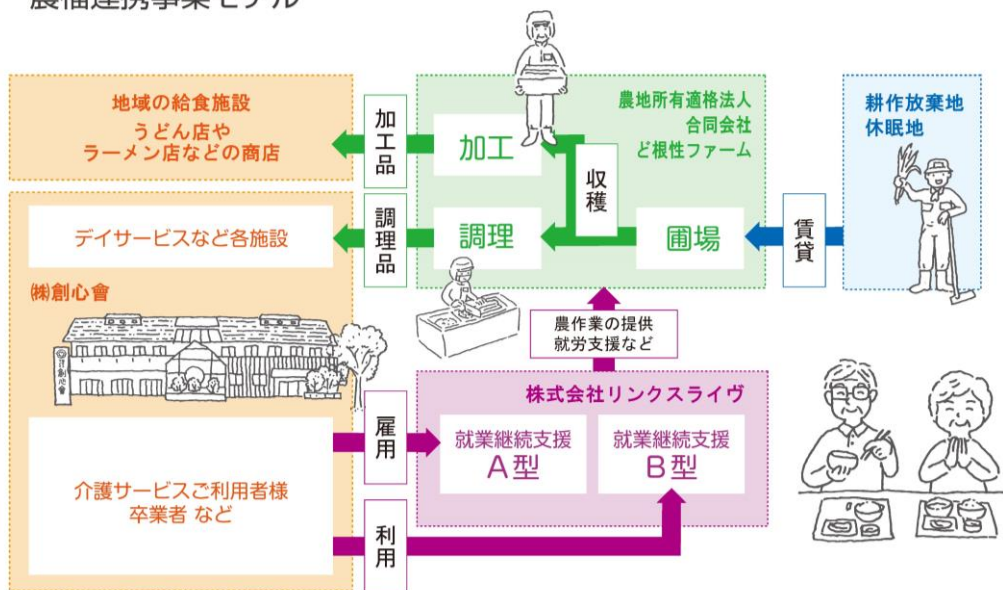
ど根性ファームの農作業・加工作業の各工程には、就労継続支援 A 型事業所を運営する株式会社リンクスライヴから、日々障害者が施設外就労し、生産行程に携わっています。また、デイサービスなど主に介護保険事業をする株式会社創心會の事業所が笠岡市他にあり、その利用者が機能回復の後に、リンクスライヴを利用し就労参画するなど、加齢や障害があっても、社会参加を促す仕組みをつくっています。



障害者の社会参加・就労支援を支える主な関連法人



## 農福連携事業モデル



《本件に関するお問い合わせ先》

合同会社ど根性ファーム 〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町 21021-14

TEL : 086-420-1500 FAX : 086-428-0946 HP : <http://dokonjou-farm.com/>

担当 : 山田 浩貴 [yamada@soushinkai.com](mailto:yamada@soushinkai.com) 河崎 崇史 [kawasaki@soushinkai.com](mailto:kawasaki@soushinkai.com)